CLUSTERPRO
MC ProcessSaver 1.0 for Windows
ユーザーズガイド（コマンド編）

- はじめに
- コマンドリファレンス
- メッセージ一覧

改版履歴

版数	改版	内容
1.0	2012.09	新規作成

はしがき

本書は、CLUSTERPRO MC ProcessSaver 1.0 for Windows（以後、ProcessSaver と記載します）のコマンドリファレンスについて説明します。

（1） 商標および著作権について

- ✓ Microsoft、Windows、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation、米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ✓ Windows Server 2003 の正式名称は、Microsoft Windows Server 2003 Operating System です。
- ✓ Windows Server 2008 の正式名称は、Microsoft Windows Server 2008 です。
- ✓ その他、本書に登場する会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。
- ✓ なお、本書では®、TM マークを明記しておりません。

目次

1. はじめに

本書は、インストール後の設定全般を行うシステム管理者とその後の運用・保守を行うシステム管理者を対象読者とし、インストール後の設定から運用に関する操作手順を説明します。

1.1. 用語の定義

本書での用語について、下記のように定義します。

用語	説明
ProcessSaver コンソール	ProcessSaver の運用管理のための GUI（グラフィカルユーザインタフェース）画面のことを、ProcessSaver コンソールと表記します。
HA ProcessSaver サービス	Windows システム上に登録する ProcessSaver のサービスのことを、HA ProcessSaver サービスと表記します。
Pfile	プロセス／サービスの監視定義情報を記述する設定ファイルのことを、Pfile と表記します。
Pcheck	Pfile で指定された定義情報に基づき、プロセス／サービスの消滅監視および再開を行うプロセスのことを、Pcheck と表記します。
Padmin	Pcheck の状態表示および操作を行うコマンドのことを、Padmin と表記します。
再起動スクリプト	監視対象プロセス／サービスの消滅を検知した場合に、監視対象プロセス／サービスを自動的に再起動するためのコマンド処理を記述したファイルのことを、再起動スクリプトと表記します。
RetryOverAction	監視対象プロセスの消滅を検知した際に再起動スクリプトにより、一定回数リトライしても再開できない場合、対象プロセスに対して実行される様々な後処理のことを、RetryOverAction と表記します。
RetryCount	監視対象プロセス／サービスの消滅を検知し、再起動スクリプトを実行した回数のことを、RetryCount と表記します。
PcheckRunList	OS 起動時に自動的に監視を開始するための Pcheck の起動リストです。 監視を行う Pfile の一覧が記述されています。
インストールフォルダ	ProcessSaver をインストールしたフォルダです。 本資料では、<C:¥Program Files> にインストールしたこととします。 OS により、インストールフォルダのデフォルトは変更されます。 32bit OS ：【 C:¥Program Files 】 64bit OS ：【 C:¥Program Files(x86) 】

1.2. 表記規則

本書での表記規則について、下記のように定義します。

記号表記	使用方法	例
「」	参照するマニュアル名の前後 参照する章および章のタイトル名の前後	「CLUSTERPRO MC ProcessSaver 1.0 for Windows インストールガイド」を参照してください。 「3. メッセージ一覧」を参照してください。
【】	ファイル名およびフォルダ名の前後	【インストールフォルダ】¥HA¥ProcessSaver¥pfile¥【Pfile 名】

1.3. 注意事項

（1） Pcheck.exe、Padmin.exe の実行には管理者権限が必要です。
管理者権限のあるユーザで実行してください。

（2） Windows Server 2008 では、Pcheck.exe、Padmin.exe を実行した場合に、OS の機能である UAC（ユーザーアクセス制御）により、以下のようなポップアップが表示される場合があります。実行する場合は ***許可(A)*** 、実行を取り消す場合は ***キャンセル*** を押してください。

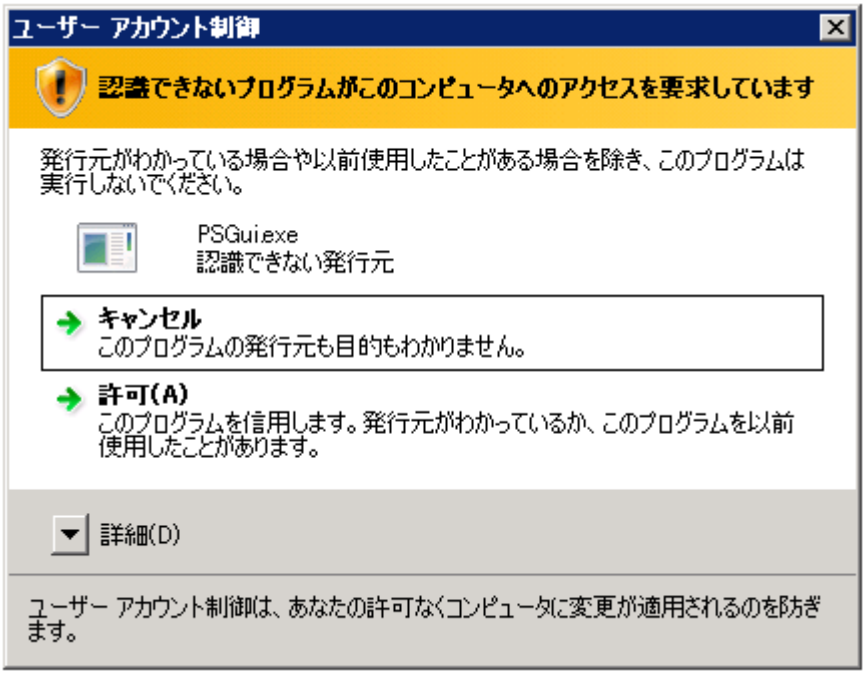

図１『ユーザーアカウント制御』

2. コマンドリファレンス

2.1. Pcheck.exe

指定された監視定義情報(Pfile)を使用し監視を行います。

Usage : Pcheck.exe -f PfileName [-w WaitTime(sec)] [-t]
: Pcheck.exe -h

-f PfileName	監視定義情報(Pfile)を絶対パスで指定します。 パスに空白が含まれる場合は、ファイル名を""で囲んでください。
-w WaitTime(sec)	指定された時間(WaitTime)、プロセス/サービスの監視を待ち合わせます。 (設定範囲:1～86400)
-t	トレースモードでの監視を行います。
-h	Help を表示します。

（1） 通常起動(ローカルユーザにて起動)

Pcheck.exe -f PfileName

（2） トレースモード起動

トレースモードでの運用を指定します。

Pcheck.exe -f PfileName -t

（3） Wait Time 起動

Pcheck.exe -f PfileName -w ＜設定値(秒)＞

2.2. Padmin.exe

指定された監視定義情報(Pfile)を使用して監視を行っている Pcheck の操作を行います。

Usage : Padmin.exe -f PfileName -c Option
: Padmin.exe -l
: Padmin.exe -h
Option : Start [PentId|GroupTag]
Stop [PentId|GroupTag]
Reload
Restart [PentId|GroupTag]
Shutdown
Change MsgCheckInterval|MonitorInterval ChangeValue
Show param|pent|group
Dump [DumpFileName]

-f Pfilename	監視定義情報(Pfile)を絶対パスで指定します。 パスに空白が含まれる場合は、ファイル名を""で囲んでください。
-c Start	監視を再開します。対象の PentId もしくは GroupTag を指定することも可能です。
-c Stop	監視を一時停止します。対象の PentId もしくは GroupTag を指定することも可能です。
-c Reload	Pcheck を終了させずに Pfile の変更を反映したり、 リトライオーバ時のプロセス監視を再開できます。
-c Restart	監視内部情報をリセットし監視を継続します。対象の PentId もしくは GroupTag を指定することも可能です。
-c Shutdown	監視を終了します。
-c Change MsgCheckInterval ChangeValue	MsgCheckInterval の値を ChangeValue の値に変更します。
-c Change MonitorInterval ChangeValue	MonitorInterval の値を ChangeValue の値に変更します。
-c Show param	共通情報を表示します。
-c Show pent	個別情報を表示します。
-c Show group	グループ監視情報を表示します。
-c Dump [DumpFileName]	監視内部情報を DumpFileName で指定したファイルに出力します。 DumpFileName のパスに空白が含まれる場合は、 ファイル名を""で囲んでください。
-l	起動している Pcheck の一覧を表示します。
-h	Help を表示します。

（1） プロセス監視の一時停止

Padmin.exe -f Pfilename -c Stop

（2） 停止中のプロセス監視の再開

Padmin.exe -f Pfilename -c Start

（3） プロセス監視の終了

Padmin.exe -f Pfilename -c Shutdown

（4） タイマ値の一時的な変更

監視タイマの値を一時的に変更できます。

Padmin.exe -f Pfilename -c Change MsgCheckInterval ChangeValue

（5） Pfile の再読み込み

Reload 機能を使うと、Pcheck を終了させずに変更した Pfile の設定情報を反映できます。

Padmin.exe -f Pfilename -c Reload

（6） プロセス消滅時におけるプロセス監視の再開

リトライオーバアクションに continue を指定した Pfile 環境で、対象プロセスの再起動に失敗すると当該プロセスを対象から外します。

プロセス復旧後に Reload 機能を使うと Pcheck を終了することなく監視の再開が可能です。

Padmin.exe -f Pfilename -c Reload

（7） 監視一時停止時のプロセス再起動におけるプロセス監視の再開

監視一時停止中に、メンテナンスなどで監視対象プロセスの再起動を行った場合、

Restart 機能を使うと Pcheck を終了することなく監視の再開が可能です。

Padmin.exe -f Pfilename -c Restart

※ プロセス監視中におけるメンテナンス作業手順

Pcheck を終了することなく監視対象プロセス／サービスに保守介入するには、

Restart、Reload 機能が有効です。

（8） Pcheck の状態確認

Padmin.exe -f Pfilename -c Show param

param を指定した場合、プロセス／サービス監視の Pfile 設定値を表示します。

```
Pfile                 = C:¥Program Files¥HA¥ProcessSaver¥pfile¥ sample_pfile_calc
MessageBox            = Start
MsgCheckInterval      = 5
MonitorInterval       = 10
MonitorTryCount       = 2
DumpFileName          ="C:¥Program Files¥HA¥ProcessSaver¥log¥Restart_Sample.bat"
ExecutionUser             = Administrator
UpMessageReduceMode = disable
```

（9） 監視対象プロセス／サービスの監視状態確認

Padmin.exe -f *Pfilename* -c Show pent

pent を指定した場合、監視対象プロセス／サービスの監視状況を表示します。

```
Pname           = iexplore.exe
Pid/Status      = -
RetryCountMax   = 3
RetryCount      = 0
RestartCount    = 0
Grace           = 86400
ProcStatus      = Avail
RetryOverAction = Continue
RestartTime     = ----------
PentId          = 1
MonitorStatus   = ON
```

ProcStatus および GroupStatus には、下記のプロセス／サービスの状態が表示されます。

Init	： 初期状態
Restarted	： プロセス／サービス再起動成功
Avail	： プロセス／サービス正常動作
Down	： プロセス／サービス消滅検知
RestartFail	： プロセス／サービス再起動失敗
RetryOver	： プロセス／サービスリトライオーバ
Restarting	： プロセス／サービス再起動中

MonitorStatus には、下記の pent 単位の監視状態が表示されます。

ON	監視状態
OFF	監視停止状態

GroupTag ／GroupStatus は、Group オプションを指定している場合にのみ表示されます。

（10） グループ監視の状態確認

Padmin.exe -f *Pfilename* -c Show group

group を指定した場合、監視対象プロセスの監視状況を表示します。

```
GroupTag    =  group1
GroupStatus =  Avail
RestartTime =  2007/03/19 15:30:07
```

（11） 監視内部情報のファイル出力

Padmin.exe -f *Pfilename* -c Dump [DumpFileName]

DumpFileName を省略した場合は、Pfile で設定しているファイルに情報を出力します。

（12） 起動中の Pcheck の一覧表示

Padmin.exe -l

```
Mypid           = 2088
Myname          = Pcheck.exe
Pfile           = C:¥Program Files¥HA¥ProcessSaver¥pfile¥pfile_sample1
Message         = Start
ExecutionUser   = SYSTEM

Mypid           = 2188
Myname          = Pcheck.exe
Pfile           = C:¥Program Files¥HA¥ProcessSaver¥pfile¥pfile_sample2
Message         = Start
ExecutionUser   = Administrator
```

（13） PentId または GroupTag 指定による Pfile の一部のプロセス監視の一時停止

Padmin.exe -f *Pfilename* -c Stop 1

Padmin.exe -f *Pfilename* -c Stop group1

（14） PentId または GroupTag 指定による停止中のプロセス監視の再開

Padmin.exe -f Pfilename -c Start 1

Padmin.exe -f Pfilename -c Start group1

（15） PentId または GroupTag 指定によるプロセス監視の再開

Padmin.exe -f Pfilename -c Restart 1

Padmin.exe -f Pfilename -c Restart group1

2.3. PSCollect.exe

障害解析に必要な情報の取得を開始します。

Usage : PSCollect.exe [-o FileName]
: PSCollect.exe -u
: PSCollect.exe –h

-o FileName	情報を FileName で指定したファイルに圧縮します。 パスに空白が含まれる場合は、ファイル名を""で囲んでください。
-u	取得したファイルを圧縮しません。
-h	Help を表示します。

（１） 通常起動（圧縮ファイル名を指定しない）

PSCollect.exe

デフォルトの圧縮ファイル名は次のとおりです。
【インストールフォルダ】¥HA¥ProcessSaver¥PS-【サーバ名】yyyymmdd.cab

（２） 圧縮ファイル名を指定して起動

PSCollect.exe -o *圧縮ファイル名*

ファイル名は絶対パスで指定してください。
ただし、ファイルの拡張子は不要です。実行時に拡張子 cab を付加します。

（３） 非圧縮で起動

PSCollect.exe -u

圧縮しない場合は、情報取得作業用フォルダを削除しません。

3. メッセージ一覧

※ メッセージ一覧 [説明(対処)] の( )内については、お客様ご自身にて対応して頂く内容を記述しております。

メッセージ ID	種類	メッセージ	説明(対処)
PS02E002	Error	引数不正です。	コマンドの引数指定が違います。 (引数を正しく指定してください。)
PS02E021	Error	引数で指定された Pfile は存在しません。	指定した Pfile が存在しません。 (存在する Pfile を指定してください。)
PS02E035	Error	Pfile は絶対パスで指定してください。	Pfile に指定したファイル名が絶対パスで指定されていません。 (絶対パスにてファイル名を指定してください。)
PS03E001	Error	引数不正です。	コマンドの引数指定が違います。 (引数を正しく指定してください。)
PS03E002	Error	コマンド受付状態です。(Pfile:{xxx})	すでにステータスの変更予約が行われています。 (ステータスの変更が行われてから再実行してください。)
PS03E004	Error	引数で指定された Pfile は存在しません。	指定した Pfile が存在しません。 (存在する Pfile を指定してください。)
PS03E005	Error	Pcheck は実行されていません。(Pfile:{xxx})	指定された Pfile を使用している Pcheck が起動していない状態で管理コマンドが発行されました。 (起動している Pcheck にて使用している Pfile を指定してください。)
PS03E006	Error	Pfile にエラーがあります。({xxx})	指定した Pfile に問題があります。 (Pfile を確認してください。)
PS03E007	Error	Pfile は絶対パスで指定してください。	Pfile に指定したファイル名が絶対パスで指定されていません。 (絶対パスにてファイル名を指定してください。)
PS03E023	Error	指定された PentID もしくは GroupTag が存在しません。(指定値:{xxx})	存在しない PentID もしくは GroupTag が指定されています。 (PentID もしくは GroupTag を確認してください。)
PS04E001	Error	{xxx}にファイル名として使用できない文字が指定されています。	設定しているファイル名に禁則文字が含まれています。 (禁則文字を削除してファイル名を設定してください。)

CLUSTERPRO
MC ProcessSaver 1.0 for Windows
ユーザーズガイド（コマンド編）

2012 年 9 月 第 1 版
日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目7番1号
TEL (03) 3454-1111（代表）

P

保護用紙